

患者様との印刷物によるコミュニケーションを支援する エプソンのスマートチャージ

Customer profile

特定医療法人誠仁会 大久保病院

一般病床160床、療養病床39床、合計199床を有し、スポーツ整形、透析センター、地域包括ケア、緩和ケアなど多様な医療を提供。成人期・老年期の医療、保健予防活動からプライマリ・ケア、二次医療、リハビリまで、患者様中心の地域に密着した包括医療体制の確立を目指す。

所在地：兵庫県明石市大久保町大窪2095番地の1

病床数：199床（一般病床160床、療養病床39床）



エプソンのスマートチャージ対応導入製品

A3複合機：PX-M7070FX×1台 A4複合機：PX-M840FX×4台
A4複合機：PX-M880FX×6台 A3機：PX-S7070X×1台 A4機：PX-S880X×2台

課題・背景

治療方針説明などの書類を大量に印刷するため、プリンター故障が頻発し修理対応に手間がかかる

リプレイス時に、購入済みの消耗品を廃棄するなど無駄が多い

担当部署ごとの運用のため、出力枚数などの印刷コストに対する意識が低い

解決策

大量印刷に対応可能なビジネスインクジェットプリンターで修理対応の手間が軽減

消耗品費用まで含む定額料金のため、消耗品管理の最適化が可能

部署ごとの出力枚数をレポートで見える化。現場でのコスト意識も向上

患者様や部署ごとで異なる印刷物に対応する ラインアップも魅力

患者様に分かりやすく説明し、理解していただいたうえで手術や治療を行う。そのためにも、図版や写真なども用いたカラー文書を、手術やリハビリなど、医療の各段階に合わせて用意する必要があります。エプソンのスマートチャージでは、A4プリンターからA3複合機まで用途に合わせたモデルを選べるのもメリットですね。

事務長 尾家 博之様



「自分の部署にも置きたい!」の声で導入数拡大 出力枚数の見える化でコスト意識に変化も

エプソンのスマートチャージの導入数が増えて、使いやすさや運用面でのメリットが周知され始めると、「自分の部署にも置きたい」といった声も聞こえてくるように。毎月の使用枚数などのレポートを各部署で共有することで、それぞれの現場でコスト意識が高まっているのも実感できます。

用度課 西口 妙子様



患者参加型の医療実現へ。紙文書による情報共有ニーズを 耐久性と低コストで支援するエプソンのスマートチャージ

手術や治療から、回復期療養、緩和ケアまでを行う大久保病院。地域に欠かせない包括的な医療を提供する同院では、以前から、医師や看護師など様々な領域のスタッフが患者と医療情報を共有し、理解と同意に基づいて医療を提供するための取り組みが進められている。

「私たちが取り組んでいるのは、患者様と病院側が情報交換を行いながら治療方針を決めていく、いわゆる患者参加型医療といわれるものです。そのためにはカラーで見やすい文書の準備が欠かせません」というのは、事務長の尾家博之氏。同院では、医師や看護師が症状や治療法を文

書にまとめ、診察室やリハビリテーションセンターなど院内各所のプリンターから出力する。部署によっては、印刷枚数が月間数千枚にものぼるというプリンターにとっては過酷な環境を、耐久性とコスト効率、使い勝手のよさで支えているのが、2016年から導入が進められているエプソンのスマートチャージだ。契約プランに応じて、複合機や単機能プリンタが貸与され、月々の基本使用料金を支払うことで利用できる。



初期導入費用の低減に比べ、消耗品ストックの最適化を実現 エプソンのスマートチャージ導入で、経費半減を可能にした部署も

従来、必要に応じて部署ごとにプリンターを導入していた同院にとって、頻繁に発生する故障や消耗品交換への対応は大きな課題だった。年度課の西口妙子氏によれば、「導入したプリンターには家庭用のものも多く、業務利用には耐久性が不足していました。修理の際の予備機の使用も必要でしたし、買い換える場合には、ストックしてあった交換部品や消耗品が無駄になっていました」とのこと。エプソンのスマートチャージで貸与されるビジネスインクジェットプリンターは、数十万枚の印刷枚数に対応するなど高耐久性を誇る。複数台契約の場合は、その月の基本印刷枚数を複数台まとめて計算し、分け合える「グループ割引」も活用でき、出力に関わる費用全体の削減も可能となる。

西口氏によれば、実際に使っている部署からも「インクが長持ちす

る」、「消耗品発注の手間が省けるのは大きなメリット」といった声があがっているという。大久保病院では、2020年11月時点で、合計14台を導入している。「部署によっては運用経費が従来の半分程度に抑えられているという印象です」（西口氏）。

国が進めている「地域包括ケアシステム」の構築や「地域医療構想」など、データ連携が進む医療業界だが、医療や介護の現場では、デジタルデータは活用しにくい場合も多い。紙による情報共有へのニーズは、むしろ高まるだろう。尾家事務長は、「現在、電子カルテ情報の印刷はレーザープリンターで行なっています。これが、エプソンのスマートチャージになれば、より大きなコスト削減が可能になると思います」という。エプソンが提供するプリンティングソリューションへの期待は大きい。

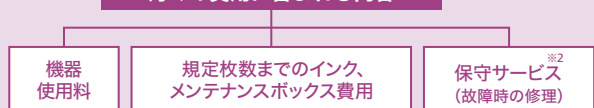
エプソンのスマートチャージとは

エプソンのスマートチャージはプリントやコピーの使用状況に合わせて、最適なプランや機器を選べるサービスです。

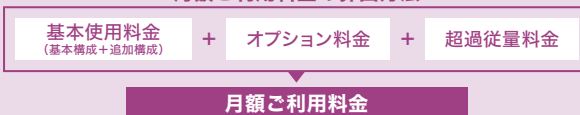
オール・イン・ワンプランの場合 [月々安心の定額]

本体を購入することなく※1、月々の定額費用だけで、規定枚数までプリントし放題。インク、メンテナンスボックス、保守サービス※2も含まれています。

月々の費用に含まれる内容



月額ご利用料金の算出方法



※1: ご契約期間中は、リース会社から機器本体をお客様へ貸与します。搬入・設置をご希望される場合は、別途料金がかかります。※2: 通常保守時間外・休日の保守サービスなどをご希望される場合は、別途追加保守料金が発生します。通常保守対応時間: 月曜日～金曜日(祝日、エプソン指定休日を除く) 9:00～17:30。

製品やサービスプランに関するお問い合わせ、導入のご相談は下記お問い合わせ先まで

スマートチャージセンター

050-3155-8655

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:30
(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンのホームページ

www.epson.jp

エプソンの医療業務向けソリューション紹介ページはこちら

▶ epson.jp/iryoo/



エプソン販売株式会社